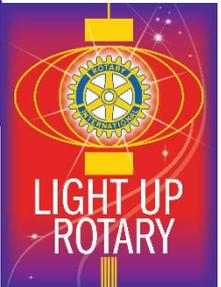




愛知長久手ロータリークラブ

2014-2015

WEEKLY



例会日=毎週火曜日 PM12:30 例会場=トヨタ博物館「小ホール」

会長 伊藤 広治 幹事 日野典子 会報 赤塚一三

Email: a.nagakuterc@aurora.ocn.ne.jp

事務局 TEL:0561-64-5446

FAX:0561-64-5459



ロータリーに輝きを



本日 第591回例会2015年5月19日(火曜日)第582号

<本日のプログラム> Today's Program

点鐘

<ロータリーソング> 「われらの生業」

卓話:地区協議会報告

講師:次年度各委員長

前回 第589回例会2015年5月12日(火曜日)記録

総合司会 加藤猛クラブ奉仕委員長

<ロータリーソング> 「君が代」「奉仕の理想」

<出席報告>

会員総数 19 名

出席者 8 名 出席率 42.00 % 前々回補正出席率 95.00 %



ビーフカレーセット

<会長挨拶> 愛知長久手ロータリークラブ 伊藤 広治 会長



皆さんこんにちは、また先日の地区研修・協議会出席された方、お疲れ様でした。本日は報告会にて発表お願いいたします。さて本日から5月の例会になりますが、5月は「私の心に残るロータリー体験を語る」月間になっております。聞きなれないテーマですがRIの情報にも載っていません。地区のテーマでおそらくロータリーではこんな経験が出来る、ロータリーだから出来たという情報交換をして増強活動につなげたいということではないでしょうか、説明が上手くできませんので実際に私の心に残るロータリー体験を語ります。

私は、伊藤高義さんの紹介でこのクラブに入会しました。また入会当時顔見知りの川本健治さんに大変お世話になりました。二人とも障害者福祉に関係が強くそのお手伝いをさせて頂きました。私自身、市のイベントお手伝いや、ゴミ拾い等ボランティアは多く行っていました、傷害者に対するボランティアは経験がありませんでした。しかし、川本さんの行っていた事業にノーマライゼーション運動会という障害者と健常者が一緒に行う運動会の実行委員会にロータリーの出向者として事前打ち合わせから当日の運営スタッフとして参加させて頂きました。当時は障害者に対して何の認知もなく、どのように動いて、対処していくのか全く分かりませんでした。実際運動会を終えた時には今まで全く知らない世界に適応しその世界の住人としてともに達成感と協調を体験し感動を頂きました。以来、その実行委員会を11年続けていますし、ボランティアに対する情熱が一層深まっています。ただ最近では、ボランティアは自分の必要最低限の生活の中から余ったゆとりで行わなければ苦痛になることも楽しくできる範囲もわかってきました。

<幹事報告>

- ① 5月12日(火) 第11回役員・理事会を5/12例会終了後行います。
- ② 5月15日(金) 第2回クラブ社会奉仕委員会 名鉄グランドホテル 受付 15:30～
- ③ 台北中原 RC15周年パーティー(5/31)の出欠の件 5/12までになっております。出席される方で返事をせていない方は、例会終了後事務局までお願いします。
- ④ ごみゼロ参加のご案内の出欠席、5/12までになっております。まだの方は例会終了後事務局までお願いします。
- ⑤ 2015-16各委員長の方で、本年度方針・事業計画をまだ出されていない方は、早急をお願いします。

<委員会報告>

◆ニコボックス委員会

- ・本日はよろしくお祈りします。10日地区協議会お疲れ様でした。本日報告お祈りします。 伊藤 広治
- ・本日も宜しく御願ひ致します。 青山 和成
- ・本日も宜しくお祈りします。 奥野 悦弥
- ・台風にも負けず、頑張ります。本日もよろしく御願ひします。 加藤 猛
- ・地区協議会ご苦労様でした。本日も宜しくお祈りします。 丹羽 司一
- ・5月なのに台風とは変な天気ですね。本日もよろしくお祈りします。 林 正俊
- ・地区協議会御苦労様でした。次年度にむけて皆さんと頑張りましょう。 山田 文明
- ・本日もよろしくお祈り致します。 小谷 恒夫
- ・ “母の日に 贈る言葉と 感謝の意”
~~~~~と~~~~~ 金銀パールに花より団子  
~~~~~ キンギン~~~~~ はな~~~~~ ダンゴ~~~~~  
(敬称略)

<卓話> 演 題 「地区協議会報告」

講師：次年度各委員長

第1分科会

- * 1905年2月23日にシカゴ・ロータリークラブが誕生して110年になり、職業倫理を重視する人々の集まりである。
- * 「最もよく奉仕する者は、最も多く報われる」という職業奉仕の理念と、他人の為に尽くすという「超我奉仕」の人的奉仕の理念の二つの理念がある。
- * 五大奉仕という奉仕活動があり、奉仕の実践がやりやすくなっている。
；クラブ奉仕；職業奉仕；社会奉仕；国際奉仕；青少年奉仕；
- * 4つのテストの再考
 - ・ 真実かどうか・みんなに公平か・好意と友情を深めるか・みんなの為になるかどうか
- * 例会内活動は親睦を前提とした奉仕理念の検証と例会外活動では奉仕活動の実践がある
(入りて学び、出でて奉仕せよ)
- *** ホームクラブの例会には、ローターの情報や教育や研修などの原点になるものの提供がある。だから、出席が必要になるのである
- *** 若い人々の男女を問わない入会と若い人々に機会を開き、魅力あるホームクラブ作りをしていく必要があると感じました

第2分科会

テーマ：クラブの活性化が会員増強のみなもと

退会防止は火の用心活動

《クラブの活性化が会員増強のみなもと》

盛田パストガバナー(名古屋RC)

- ・ 一般的に「大企業病」といわれる自分がやらなくても誰かがやってくれる。自分が出席しなくても例会は誰かが進めてくれる、活動してくれる、自分がやらなくても大丈夫だ。そんな大企業病が現在のRCの全体ではないか。
- ・ 「奉仕が先で次に親睦」であったがRCの原点である『親睦が先で次に奉仕』ではないか。「奉仕」である清掃活動、災害時の義援金、弱者への支援等は子供から大人までゆとりある人が行っている。RCはまず『親睦』から良い友達をつくるクラブを目指してはどうか。心の通い合ったRCの仲間たちで、心を込めた『奉仕活動』を行ったら良いのではないか。

大島パストガバナー(名古屋RC)

- ・昨年脳梗塞を患って話ができない。言葉が聞き取れないという。でも、RCは出席することが大切と考え出席している。話をしてほしいと言われ話をしているが、私もつらいし皆さんも理解できないと思うので、これで終わります。

杉浦次期ガバナー補佐(刈谷RC)

- ・RCはプライドを持って活動していた時代から「なあなあ」クラブへと変わった時代に入った。会員増強だけが前面にでているが、もう一度原点に戻るべきではないか。そのためには、エンジョイロータリーとして楽しく盛り上がりたい。
- ・来年度は世界大会が韓国で開催される。一度はロータリアンとして参加してほしい。

光岡次期会員増強委員長(豊田RC)

- ・各クラブは何名のクラブを目標とし、どのような活動をするか明確にすべきである。
- ・平均年齢を出し、10年後どうなるのか、若手、女性会員やクラブ会員の多様化も考えて増強に取り組みないと進展しない。
- ・会員増強に特効薬はない。地道にアプローチしていく。
- ・楽しいロータリーとしての会員基盤づくりが必要である。

《退会者を出さないために「火の用心」》

- | | |
|---|---|
| ・退会者の理由(6月末が多い) | 対策としては |
| ①つまらない。 | ①同好会の活動を積極的に行い充実させる。 |
| ②打ち解ける機会がなく、友人ができない。 | ②役についてもらい、地区の活動に参加してもらう。 |
| ③下働きをやらされる。
(今更なんでこんなことをさせられる。) | ③例会の時、1人にしない。声を掛け合う。 |
| ④派閥のいやらしさに巻き込まれる。 | ④日本では95%昼食例会。海外は50%。モーニング
例会、アフタヌーン例会を取り入れたらどうか。 |
| ⑤会員同士のトラブルで嫌になる | ⑤息子を入れる!! JCを卒業したら入会させろ。 |
| ⑥例会のマンネリ化に飽きてくる。 | |
| ⑦会長を降りると次の会長のクラブ運営に不満が出、
欠席が多くなる。また退会に発展することがある。 | |

第5分科会

来年度2期目の杉浦委員長のテーマは「全ての人に何もかもできなくても、誰かに何かができる。」
「各自が委員会活動を通じて自分の思い出づくりをして欲しい」と言われました。又、加藤ガバナーエレクトの地区行動方針の中の一つに「クラブの自主運営を」と言われております。地区の国際奉仕委員会は各クラブの国際奉仕委員会のお手伝いをするのが目的ですので、クラブ単位での国際奉仕活動を活発にやって欲しいと思います。協力を惜しみませんとのことでした。2760地区84のクラブの中で単独クラブで国際奉仕をしているクラブは35クラブあります。単独クラブで国際奉仕活動をしていないクラブは地区のプロジェクトへの参加をお願いしたいと言われました。

ちなみに当クラブの今年度地区プロジェクトへの参加は30000円でしたが、この30000円で実際には井戸が、1本掘れるのに役立っているのです。

国際ロータリーとしての国際奉仕活動での現況としては、永年の取り組みであった、ポリオの撲滅はもう少しのところまで、進んできました。今後のRIでの活動としては識字率の向上に向かって行く方向です。

私達のクラブに立ち返って、来年度の国際奉仕活動を考えますと、交換留学生としてUSAから男子高校生を迎える事になっておりますが、この機会に私達クラブ員同士が国際奉仕をじかに体験できる貴重な一年間になるのではと期待しております。又、台湾中原RCとの友好関係も毎年続いており、4月には名古屋において頂き今月には台湾中原RC15周年式典への招待状も頂いており、当クラブからも皆さん参加の予定です。

今後共、いろんな機会を通して国際奉仕をしながら、ロータリーを楽しむ事が出来ればと思います。

よろしくお願い致します。

第6分科会

テーマ：青少年ファミリーのさらなる交流と認知度向上について

・インターアクト委員長の報告

1962年11月5日に米国フロリダ州のメルボルンにあるメルボルン高校に最初のインターアクトクラブが誕生、現在は、120以上の国や地域において25万人以上の青少年が地域のための奉仕活動と国際理解を深める活動をしており、この2760地区では去年津島東高校IACが発足し、各地の高校・高専に16のインターアクトクラブがあり、今年もう1校増える予定である。また、近年インターネットによる地区内クラブ同士の交流・情報交換も活発である。

・ローターアクト委員長の報告

2760地区にある9つのローターアクト・クラブの総会員数は、依然として減少傾向にあり危機的な状況である。よって懸命な会員の増強が急務であるがなかなか成果が表れていない。ローターアクトだけの問題ではなくアクターと積極的にかかわり会員の増強に取り組む必要がある。

・RYLA委員長の報告

RYLAとは、なに？というテーマで話が進められた。RYLAとは、ロータリー青少年指導者養成プログラムであり、年齢は、14～30歳の若者を対象にスキルと人格を養いながら奉仕、道徳の価値観を学ぶ機会を提供するプログラムである。大勢の若者に参加をお願いしたい。

・青少年交換委員長の報告

1929年にデンマークコペンハーゲンで始まったのが最初で現在交換事業で150か国以上、約8000名の交換留学が行われ、日本においても50か国以上350名ほどの学生が世界各地に留学している。2760地区においても1968年米国と4名ずつの交換留学から始まり、2014～2015年度までに409名の愛知からの派遣学生と、407名の世界各国からの留学生を受け入れてきた。また、現在8名の学生が去年の8月から今年7月まで各地に留学しており、2015～2016年度は、10名の派遣候補生が確定している。今後も受け入れのホストファミリーを増やし活動をしていきたい。

・危機管理委員長の報告

危機管理の必要性と題して、危機管理の仕組みを導入し突如として起こりうるさまざまな危機に対処できる組織づくりをしなければならない。ぜひ卓話でお呼びいただき内容を理解していただきたい。

第7分科会<ロータリー財団関連部門>

ARRFC（ロータリー財団地域コーディネーター補佐）深谷 友尋

戦略計画に関するアンケート調査、改善点一増強等

次期ロータリー財団委員長 鈴木 文勝

ロータリー財団の優先項目と具体的目標

- 1：永久にポリオを撲滅する
- 2：ロータリー財団に対するロータリアンの知識、参加、寄付の向上をはかる
- 3：財団の補助金と6重点分野を通じて、ロータリーの人道的奉仕の質と影響をたかめる
- 4：「世界で良いこと」をしてきた財団100年の歴史に注目し、財団の功績の認識を高める

次期ポリオプラス委員長 佐々木 久直

2018年地球上からポリオ撲滅宣言 ポリオ撲滅エンドゲーム戦略計画2013-2018

次期奨学基金・学友・平和フェロシップ委員長 小島 哲夫

ロータリー平和フェロシップとは、ロータリー財団の教育的プログラムで国際関係、平和、紛争解決の分野におけるキャリアを志し、すでにこれらの分野で経験を積み、社会奉仕や人道的国際奉仕への熱意を示すとともに、平和のために尽くす意欲のある人を対象としている。

2002年創立以来世界約560名、内アジア諸国で150名、しかし日本では24名積極的な参加推進活動が必要。

次期資金推進委員長 久米 博明

- 1.年次基金
- 2.恒久基金
- 3.メジャードナー
- 4.ロータリーカード

まずはロータリーカードを利用してください。

次期補助金委員長 櫻井 繁

地区補助金の活用の活性 2760地区85クラブ中58クラブの申請

グローバル補助金も4件実施されており4件立案中

次期職業研修チーム委員長 福田 哲三
 次期資金管理委員長 豊島 徳三 補助金は公金 クラブの義務と責任
 次期ロータリー財団会計長 神谷 賢

第8-分科会<職業奉仕関連部門>

テーマ：クラブの職業奉仕委員会活動とは何をすればよいのか？

早川和男(名古屋東山 RC)次期委員長挨拶後、中山信義(名古屋錦 RC)次期副委員長より昨年度の職業奉仕月間に関するアンケート結果について報告があり、各8分区の各クラブの中より主な委員会活動代表クラブの1例が報告された。

例①東三河区分区「豊橋 RC」職業奉仕フォーラム・職業奉仕とは「奉仕の心をもって職業を営むこと」をとらえ、焦点を「職業理論」に絞り、ロータリアンが求めていくべき行動規範である「高潔性」へとつないでいく展開を催す。「倫理観」「道徳観」をもった「高潔性」を備えた人になりましょう！という企画で発表れる会員5名の方に自分の職業観を「四つのテストに照らし合わせ、最近起こっている様々な事件を交えながら考えを発表するフォーラムを実施。

②東尾張分区「尾張旭 RC」④優良従業員商工会開催に協賛⑥職場例会⑦年2回市民講座開催⑨「職業奉仕理念」「職業奉仕の実行具体例」2題を会員全員に個人の考え方の発表実施。等々 その後、海外で行う職業奉仕について次期職業研修チーム(VTT)委員長福田哲三(名古屋和合 RC)氏より P.P を使用して昨年度の報告と次年度計画が説明された。クラブの職業奉仕委員活動について早川委員より P.P を使用して理解しやすい詳細な説明がなされ参考資料として前委員長村井總一氏の著「超入門・職業奉仕の入り口」小冊子が配布された。質疑応答後、小幡輝雄(豊田西 RC)次期担当ガバナー補佐挨拶と講話にて閉会となった。



-1 分科会-



-2 分科会-



-5 分科会-



-6 分科会-



-7 分科会-



-8 分科会-

| 5月26日(火) | 6月2日(火) | 6月9日(火) | 6月16日(火) |
|----------|----------|----------|----------|
| クラブ全体会議 | 祝福 | 年間回顧 | 年間回顧 |
| (トヨタ博物館) | (トヨタ博物館) | (トヨタ博物館) | (トヨタ博物館) |